

「さがみはらを代表するお土産」開発に関する サウンディング型市場調査実施要領

令和7年9月 相模原市 観光政策課

1. 調査の背景と目的

1.1. 調査の背景

相模原市においては、平成21年以降イベント等で、市内の秀でた事業者や商品を表彰し、土産の創出に向けた取組を進めてきました。また、相模原市だけでなく、県や関係諸機関も、相模原市の事業者や商品を支援する取組を進めています。

しかしながら、市民から「さがみはらを代表するお土産」と認知いただけるような商品創成までには至っていません。

令和7年度より本市はイベント形式の表彰・支援活動から、「さがみはらを代表するお土産」創出に向けた新たな取組にシフトします。「代表するお土産」の事業に必要な機能を、「製造」「販売」「ロジスティックス」等に分解し、複数の事業者が個別の機能を発揮する事業スキームを構築していきます。

県や関係諸機関の既存事業者・商品の応援と、本市の取組を両輪として展開することにより、さらなる相模原の魅力向上を図っていきます。

調査を通じてこの取組の課題を明確にし、事業者がご応募しやすい公募条件等を検討していきます。

1.2. 調査の目的

新たな取組の課題を明確にするため、「事業スキームの課題」「事業者の実情」「市民が求めるお土産の要件と事業者の実情とのギャップ」等についてご意見を求めたく、調査を実施します。

また本調査において、課題解決の方策についてもアイデアやご意見をいただくことで、本市の役割機能を検討していきます。

2. 事業の概要

事業の概要について、以降示します。

2.1. 概要

「さがみはらを代表するお土産」創出にあたっては、「多店舗販売」「一定量の製造」「両者をつなぐロジスティックス」等の機能が必要ですが、全ての機能を1事業者で賄うことを目指したこれまでのアプローチではその実現が難しいと考え、

- ① 事業全体を司る1事業者が、
- ② 必要な機能を補完する事業者を募って共同事業体を編成し、

新たな事業スキームを構築することで、その課題を解消したいと考えています。

また、極めて競争の激しい市場でもあり、ユーザー目線で設計された商品コンセプトに基づいて開発、発売し、その1商品を繰り返し磨き直していただき、商品の価値を丁寧に伝え続け、少しずつ市民の支持を広げて、「さがみはらを代表するお土産」を実現していきたいと考えています。

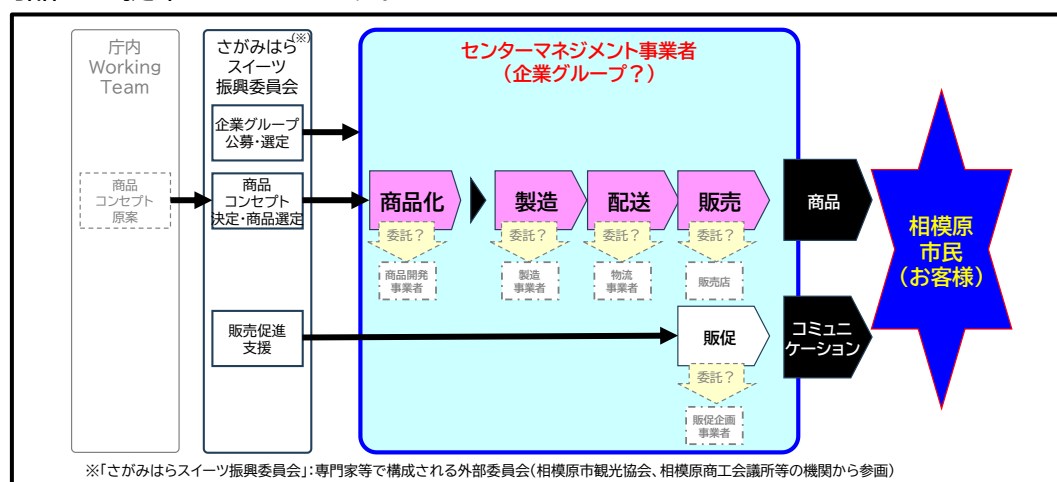
2.1. 事業スキーム

「さがみはらを代表するお土産」は、「市内の多くのスポットで販売される」「一定量以上を製造される」「そのための調達・配送機能等のロジスティクス機能を備える」「継続的に有効なプロモーションが展開される」ことが不可欠です。

この事業スキーム全体を1事業者にとり、1事業者だけではできない機能を、別の事業者へ委託して共同事業体を編成していただきます。

この事業スキームは、事業規模が小規模でも堅実に利益を出せることと、売上の漸増にしたがって事業スケールを拡大できることが大切だと考えています。

この、事業スキーム全体を司り、共同事業体を編成して、「さがみはらを代表するお土産」を開発、育成していただける事業者を公募します。ご応募にあたっては、事業立ち上げ時の事業スキームと、将来の構想、および、「さがみはらを代表するお土産」商品をご提案いただきます。



2.2. 商品開発

広く相模原市民に支持していただくため、1stステップは「市民がプライベートシーンで持参する手土産」を目指していただきます。必ずしも手土産に限らず、市民ご自身にも自家消費していただけるような、市民に愛される商品を考えています。

市民の手土産ユーザーの声に基づいて商品コンセプト設計を行い、提示しますので、事業者にはこれに基づいて商品設計・開発をお願いします。必ずしも新商品開発にこだわらず、秀でた既存商品の仕立て直しも大きな選択肢です。

「さがみはらを代表するお土産」商品の発売は令和8年6月頃を目指していただきたいと考えています。

2.3. 商品の育成

(考え方)

一般に、新商品が売れる、さらに売れ続けることは極めて難しい上に、お菓子のお土産市場は競合環境が特に厳しいので、商品を継続して磨き上げ、育成することで少しずつ市民の支持を広げ、「柱となる1商品」にしていきたいと考えています。

(売場)

市民の、相模原でしか買えない「わが街の商品」意識を醸成するため、市内に限定した良質な店頭でのリアル販売に特化していただくことをお願いいたします。発売当初は市内3カ所程度でスタートし、市民の支持の拡大に合わせて販売店舗数を少しずつ増やしていきましょう。

(プロモーション)

市民にこの商品の価値を理解していただくことがとても大切だと考えていますので、商品の価値を言語化して店頭やSNSを活用して継続訴求することをお願いいたします。

発売前後には、多くの市民にご試食いただき、認知を広げる施策を投入し、その際に、市民のご意見をいただくことで、商品の磨き上げのヒントにさせていただきます。

この試食にあたっては、さがみはらスイーツ振興委員会が支援し、例えば市内公立中学校の生徒の皆さんや、ターミナル駅前等の集客スポットで市民に試食品を配布し、アンケートを実施することを予定しています。

短期的なブームの誘発や極端なバズは狙わず、時間がかかっても、市民の支持を少しずつ広げることを最優先に育成していくことをお願いいたします。

※事業規模拡大のイメージ

		発売初年度 目標	3年目 目標	5年目 想定	10年目 想定
店舗あたり売上	平均日販	数量	10 箱	20 箱	30 箱
		金額	12,000 円	30,000 円	45,000 円
		(仮:単価想定)	1,200 円	1,500 円	1,500 円
		(仮:入数想定)	10 個	12 個	12 個
		(仮:フレーバー数)	1 フレーバー	1 フレーバー	2 フレーバー (定番1+期間限定1)
店舗数		3 店舗	5 店舗	8 店舗	12 店舗
年商		金額	11,000 千円	47,000 千円	112,000 千円
※販売個数	日販	300 個	1,200 個	3,000 個	6,000 個
	年間	90 千個	370 千個	1,000 千個	1,800 千個
備考		市内のみ販売	市内のみ販売	市内のみ販売	市内のみ販売 (リニア開通時に、 一部市外進出も検討?)

※上記店舗数に加え、「Sagamix」(ポーノ相模大野)での販売も検討
※販売店舗との契約等は、事業者様にて実施

2.4.「さがみはらスイーツ振興委員会」の役割

①事業者選定

事業者を公募し、ご応募いただいた事業者の中から、事業遂行に最も相応しい事業者1社(グループ)を選定します。

事業者選定にあたっては、(1)事業スキーム、(2)商品、(3)「商品磨き直し」の実現性、(4)「さがみはらを代表するお土産」への深い理解、を選考基準とします。

②商品コンセプト決定・提示

「手土産ユーザー」が考案した「商品コンセプト」「条件」の原案を、実現可能性等を勘案して見直し、事業者公募時に提示します。ご応募いただく事業者には、この商品コンセプトを尊重した商品開発をお願いします。

事業者選考時の上記(2)商品選考の際の選考基準の一部となります。

③商品化支援およびプロモーション支援

③-1. 事業者選定後、発売までの商品磨き上げのため、人材を紹介します。ただし、商品仕様に直接関わらない領域に限ります。

③-2. 発売前後に、多くの市民に試食していただく活動を支援します。相模原市内公立中学校の生徒、ターミナル駅での市民向けの試食品の配布、およびアンケートを実施する予定です。また、市が保有・関与する媒体やイベント等での市民への認知拡大活動を支援します。

2.5. 今後のスケジュールイメージ(案)

令和8年6月頃の商品発売を目指します。

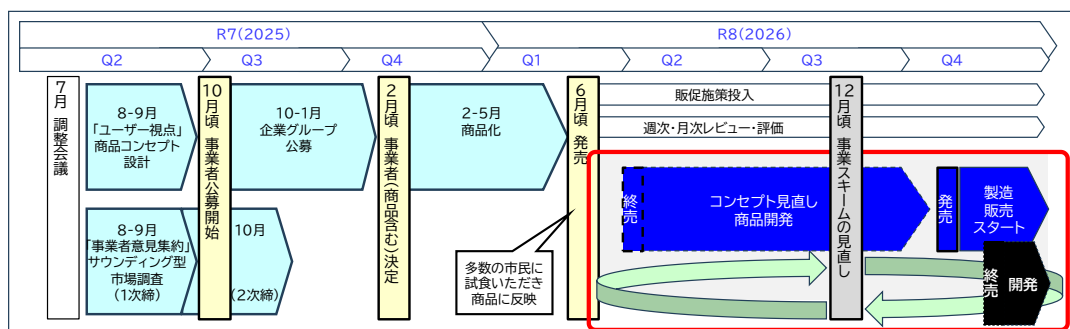
事業者の公募は下記のスケジュールを想定しています。

令和7年10月頃 事業者公募開始(公募条件、商品コンセプト等も提示)

令和8年 2月頃 ご応募締め、選考

発売後は、販売動向や市民の声を短サイクルで検証し、商品の磨き上げを行い、令和8年度中にリニューアル発売を目指していただきます。

中期的には、事業者が自律自走していくことを想定しています。



3. 調査内容

本調査においては、上記の事業スキームの課題、事業者の実情、課題解決の方策について、アイデアや意見を求めます。いただいたアイデアやご意見に基づいて課題を洗い出し、より参入しやすいスキームを設計するとともに、この事業における本市の役割機能や、事業者支援の領域や方法を検討します。

3.1. 対象とする事業者

本事業に主体的に関わることに興味のある事業者又は事業者のグループ（以下「事業者等」という。）

3.2. 調査内容

- ① 事業スキームの課題と解決に向けた方策のアイデア・ご意見
- ② 事業遂行に関わる要件項目ごとの重要性と課題の内容、事業者の実情
- ③ 市民が求める「さがみはらを代表するお土産」の要件と、事業者の実情(任意)

3.3. 調査方法

調査にご参加いただく事業者には、メールによるアイデア・ご意見の提出をいただきますが、ご要望いただければ個別対話によるご提案も可能です。

また、調査期間を1次締切と2次締切に分け、

1次締切 上記①～③全て (③は任意提出)

2次締切 上記②～③のみ (③は任意提出)

のご意見の提案を募集します。

4. 調査スケジュール

調査スケジュールは、次のとおりです。

本調査実施スケジュール（予定）※

実施事項	実施日
実施要領等公表	令和7年 9月 5日（金）
(1次)ヒアリングシート提出締切①	令和7年 9月25日（木）
(1次)個別対話の参加申込締切①	令和7年 9月25日（木）
(1次) // の開催①	令和7年10月 6日（月）～10月 9日（木）
(2次)ヒアリングシート提出締切②	令和7年10月16日（木）
(2次)個別対話の参加申込締切②	令和7年10月16日（木）
(1次) // の開催②	令和7年10月27日（月）～10月30日（木）
サウンディング結果の公表	令和7年11月下旬

※ 都合により変更となる場合があります。

※ 追加資料がある場合は、参加申込者に直接送付します。

5. 調査の手続き

5.1. 事業説明会

サウンディング型市場調査において一般的に実施される事業説明会は開催しません。説明依頼やご質問には個別に対応いたしますので、下記「10. 問合せ先」までメールにて連絡ください。

なお、電子メールの件名の頭に【サウンディング型市場調査問合せ】との表記をお願いいたします。

5.2. ヒアリングシートの提出

調査にご協力いただける事業者は全て、ヒアリングシートをご提出ください。

- | | |
|------|-------------------------|
| 1次締切 | 令和7年 9月25日(木) 午後5時まで |
| | ※ヒアリングシート①～③全て (③は任意提出) |
| 2次締切 | 令和7年10月16日(木) 午後5時まで |
| | ※ヒアリングシート②～③のみ (③は任意提出) |

1次締切でいただいたご意見を公募要件へ反映、2次締切でいただいたご意見を必要に応じて公募要件等への追加反映することを検討します。

ヒアリングシートは記入の上、電子メールにて「10. 問合せ先」まで提出してください。

なお、電子メールの件名の頭に【ヒアリングシート】との表記をしてください。

ヒアリングシートを補足する資料等がある場合は、あわせて送付いただくことも可能です。(個別対話当日に補足資料を持ち込むことも可能です。)

5.3. 個別対話

5.3.1. 実施期間

ご要望を頂けた事業者とは、次の期間内に1事業者等につき1時間程度の個別対話を実施します。

《1次》個別対話

- | | |
|----------|--------------------------|
| 個別対話申込 | 令和7年 9月25日(木) 午後5時まで |
| 個別対話詳細連絡 | 令和7年10月 1日(水) まで |
| 個別対話 | 令和7年10月 6日(月)～ 10月 9日(木) |

《2次》個別対話

- | | |
|----------|--------------------------|
| 個別対話申込 | 令和7年10月16日(木) 午後5時まで |
| 個別対話詳細連絡 | 令和7年10月22日(水) まで・ |
| 個別対話 | 令和7年10月27日(月)～ 10月30日(木) |

5.3.2. 申込方法

様式1「個別対話参加申込書」に必要事項を記入の上、電子メールにて「10. 問合せ先」まで送付してください。

なお、電子メールの件名の頭に【個別対話参加申込】との表記をしてください。

5.3.3. 個別対話詳細連絡

個別対話の実施日時、場所、対話時の留意事項等を、個別対話参加申込書に記載された連絡担当者あてに電子メールにてご連絡します。

なお、申込時に希望された日時での実施が難しい場合には、日程変更をお願いする場合がございます。

5.3.4. 個別対話の実施方法

個別対話は次のとおり実施します。

- ・ヒアリングシートをもとに対話形式で提案をお聞きします。
- ・追加資料等を当日お持ちいただくことも可能です。
- ・相模原市役所内または周辺に市が用意する会場で、参加申込者別に対面形式またはWeb形式で実施します。
- ・対面での参加を希望された場合でも、Web形式での実施をお願いする場合があります。
- ・その他留意事項については、参加申込をいただいた後、実施日時などとあわせ電子メールでお知らせします。

5.4. 本調査結果の公表

本調査の結果は、令和7年11月下旬に市ホームページなどで公表する予定です。公表にあたっては、参加者のアイディアやノウハウの保護のため、概要のみの公表とする予定です。

公表にあたりましては、各参加者に事前にご確認いただき、公表不可とされた情報は公表いたしません。

※ 「相模原市情報公開条例」その他の関係法令の規定により、公開となる場合もあります。

6. その他

6.1. 参加した事業者等の取扱い

今後、本事業の公募等を行う場合において、本調査への参加を事業者公募への参加条件とはいたしません。また、本調査の実績を事業者公募の評価対象と

はいたしません。

6.2. 費用負担

本調査の参加に要する費用は、参加した事業者等の負担とします。

6.3. 対話内容の取扱いについて

対話の内容は、今後の検討材料とさせていただきます。

ただし、双方の発言とも、あくまでも対話時点での想定のものとし、何らの約束をするものではないことをご了承ください。

6.4. 追加対話への協力

本調査終了後も、必要に応じて追加の対話やアンケート等へのご協力をお願いする場合があります。何卒、ご協力をお願いします。

6.5. 本市からのご案内への協力

様々な状況に応じて、本市から事業者へ直接お声がけして情報提供をお願いする場合があります。

何卒、ご協力をお願いします。

7. 問合せ方法

本調査等に関するお問合せにつきましては「10. 問合せ先」まで電子メールにてご連絡ください。様式は特にありませんが、必ず、事業者名、所属、ご担当者の氏名等をご記載ください。

なお、電子メールの件名の頭に【サウンディング調査問合せ】と表記してください。

8. 参加除外条件

次のいずれかに該当する場合は、本調査に参加いただくことができません。

- ・相模原市暴力団排除条例（平成 23 年 12 月 26 日相模原市条例第 31 号）第 2 条第 4 号に規定する暴力団員等、同条第 5 号に規定する暴力団経営支配法人等又は第 7 条に規定する暴力団員等と密接な関係を有する（法人その他団体にあってはその役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいう。）が暴力団員等と密接な関係を有する）と認められるもの
- ・神奈川県暴力団排除条例（平成 22 年神奈川県条例第 75 号）第 23 条第 1 項又は同条第 2 項に違反している事実がある者

9. 関連書類

- ・ 02_事業スキーム案
- ・ 03_ヒアリングシート(記入例)
- ・ 04_ヒアリングシート(記入用紙)
- ・ 05_様式1「個別対話参加申込書」

10. 問合せ先

問合せ先：相模原市 市長公室 政策部 観光政策課（受付時間 平日 8：30～
17：00（12:00～13:00 を除く。））

担 当 ：川島、飯田

所在地 ：相模原市中央区中央2－1 1－1 5

T E L ：0 4 2－7 6 9－8 2 3 6

E-mail ：kankou@city.sagamihara.kanagawa.jp